



第15回 WAKUI MUSEUM

埼玉県加須市にあるワクイミュージアムは、イギリスを代表するクラシックカーのロールス・ロイスとベントレーを集めた私設の産業博物館であり、2007年に開館。その後2015年に、「遺産の保存・継承」を強化すべく、「MUSEUM(ミュージアム)」「(展示)」「HERITAGE(ヘリテージ)」「(ショールーム)」「FACTORY(ファクトリー)」「(修復と整備)」の3拠点体制となりました。

創業者である涌井清春氏がエンスージアスト*として、また専門輸入商として30年の歳月をかけ、世界中から300台以上のロールス・ロイスやベントレーを収集。その中から選りすぐりの名車が、常に整備された状態で動態保存されています。「自動車である限りすべて走れる状態を保つこと」は、「自身の後半生をかけた夢の博物館」への涌井清春氏のこだわりでもあります。



展示している車の中には、現存する世界最古のオリジナルベントレーや、吉田茂元首相の愛車であったロールス・ロイス・25/30Hpや白洲次郎がイギリス留学時代に乗られていたベントレー・3リットルなどが展示されています。ミュージアム奥には、白洲次郎の足跡を巡る小さな資料館があり、当時の写真や実際に着用していたスーツなどが展示されており、白洲次郎の趣味の世界を垣間見ることができます。

MUSEUMの開館日は、日曜日のみですが、滅多にお目にかかることできない歴史的価値のある車を前にして、ノスタルジックな雰囲気を感じてみませんか。運が良ければ展示している車のエンジン音が聞けるかもしれません。

入場は無料で、写真撮影は自由に行うことができます。同時に販売車両の展示も行っておりますので、興味のある方は、一度訪れてみてはいかがでしょうか。

* 特定の分野や活動に対して熱心な関心や情熱を持つ人を指す。現代では、特に自動車やバイクに対する熱心なファンやマニアを指すことが多い。



ベントレー・3リットル (1921年)
現存する世界最古のオリジナルベントレー



ロールス・ロイス・25/30Hp (1937年)
吉田茂元首相の代名詞とされたロールス・ロイス



ベントレー・3リットル (1924年)
白洲次郎のプリンシプルを育んだベントレー



ベントレー MK VI (1949年)
ベントレー社初のスタンダードボディ

展示車両の一部を 紹介します

WAKUI MUSEUM
<https://wakuimuseum.com>



ロールス・ロイス 20Hp (1928年)
ロールス・ロイス社初の小型モデル



ベントレー Rタイプ・コンチネンタル (1955年)
20世紀後半のベントレー最高傑作



40/50Hp シルヴァーゴースト (1914年)
自動車史上初の『名車』



40/50Hp シルヴァーゴーストアルバイニング (1919年)
通称 "アーチャー"

MUSEUM

— 伝説の名車、希少車のコレクションを展示する文化遺産ミュージアム

HERITAGE Cars for Sale

— 取り扱う名車全て文化財として受け継がれていく価値がある
ロールス・ロイスとベントレーを中心に、20世紀初頭のヴィンテージから
2000年代までの車を販売

所在地：〒347-0010 埼玉県加須市大桑 2-21-1

TEL：0480-65-6847

開館時間：日曜 11:00 - 16:00

※イベント等により、臨時休館となる場合がありますので、
事前にホームページでご確認ください。



白洲次郎の足跡を巡る資料館

FACTORY

— 名車は存分に走って楽しめるからこそ価値がある

「半端な修復や整備では、門から出さない」との信念のもと、
匠の技を誇るメカニックが名車に命を吹き込む

所在地：〒347-0015 埼玉県加須市南大桑 3748

TEL：0480-65-6847

開館時間：10:00 ~ 18:00 (定休日：火曜・祝祭日・年末年始)

